

## 令和3年度第1回千葉市病院運営委員会議事録

1 日 時 令和3年10月15日（金）午後7時から午後7時35分まで

2 場 所 千葉中央コミュニティセンター8階 千鳥・海鷗

### 3 出席者

(1) 委 員 齋藤博明委員（委員長）、浅井隆二委員、斉藤浩司委員、日向章太郎委員、寺口恵子委員、齋藤陽太委員、齋藤幸雄委員、宮田昭宏委員、田中孝明委員、西田陽子委員

(2) 事務局 寺井病院事業管理者（海浜病院長兼務）、初芝次長  
〔病院局 経営企画課・管理課〕  
西野経営企画課長、香取病院整備室長、植草総括主幹  
高澤管理課長、松川人事・定数担当課長、品管理課長補佐  
〔病院局 市立青葉病院〕  
山本院長、岡崎事務長  
〔病院局 市立海浜病院〕  
内海事務長  
〔保健福祉局 医療衛生部〕  
柿崎医療衛生部長

(3) 傍聴者 0名

### 4 議 事

(1) 千葉市立病院改革プランの進捗状況について

（令和2年度決算の状況について、令和3年度第一四半期決算振り返り、繰入金の状況について）

(2) その他

### 5 議事の概要

(1) 議事（1）「千葉市立病院改革プランの進捗状況について（令和2年度決算の状況について、令和3年度第一四半期決算振り返り、繰入金の状況について）」事務局から説明。

#### 【質疑応答】

<齋藤委員長>

両市立病院の新型コロナウイルス感染症に対する国からの補助金の額はどれくらいか。

<西野経営企画課長>

合計2,431百万円の補助金を受け入れている。主に、入院患者協力受入金や病床確保支援金、そのほか医療機器に関する補助金や新型コロナウイルス感染症患者受入に関する職員の処遇改善の補助金となる。

<田中委員>

現在は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いているが、現在も新型コロナ感染症のために病床を開けた状態としているのか。それとも柔軟に一般病床を転換させて対応できる

ものか。

<山本青葉病院院長>

千葉県で新型コロナウイルス感染症のための病床確保計画を立てており、感染のピークに至るまで段階的にフェーズで区切り、フェーズごとに確保病床等を設定している。

現在、千葉県では、フェーズ2での運用としていることから、当院では、フェーズ2として県に届けている1病棟を確保している。今後、フェーズ1となった場合は、それに合わせた病床数に変化させていく。

<寺井病院事業管理者>

海浜病院では、現在23人の患者さんを受け入れる病床を確保している。なお、先月は71床を確保していた。今後病床規模を縮小するかは県のフェーズ次第である。ただし、今後第6波に向けて受け入れることができるように備えていく。

<斎藤（幸）委員>

千葉県の方針としては、フェーズ1の病床計画は保健医療圏ごとに定めることとなっており、千葉市（千葉保健医療圏）はまだ決まっていない。2～3日後に、フェーズ1に戻すようにいわれても、看護師の勤務体制は1か月前から決まっており、すぐにフェーズ1に戻すことは難しい。今後、第6波がくるとも限らないので、第6波に備えた準備のために、しばらく現状の体制のままということになるのではないかと。

<齋藤（陽）委員>

資料1の「3 第4期プランの達成状況と今後の取り組み」の中の令和2年度の目標と実績の差をみると、青葉病院では「薬品費率」が、海浜病院では「給与費比率」が高い状況となっている。この理由は何か。今回の新型コロナウイルス感染症に関する補助金の分を加味すると差が出ないのか。

<西野経営企画課長>

計算をしないと正確な数字はいえないが、医業収益の増減が比率に影響を与えている。決算での経常収益の規模自体は令和2年度と令和元年度を比較するとあがっているのに、経常収益からみる各費用の比率はそこまで変わらないか、むしろ下がっているのではないかと思う。

## (2) 議事(2) その他

<寺口委員>

新型コロナウイルス感染症の今後の動向が非常に気になる場所であるが、(千葉県看護協会の) 専門部会では通常よりも看護職員の離職が多いと聞いている。新型コロナウイルス感染症対応でそろそろ限界にきていると思うので、看護職員のフォローをお願いしたい。

以上

問い合わせ先 千葉市病院局経営企画課  
TEL 043-245-5744